

黒森歌舞伎 保存会だるる

二〇一七年
三月三十一日号



絵本太功記「尼ヶ崎閑居の場」



絵本太功記「本能寺の場」



来年の演目を決める「神撰の儀」

2月15日と17日の両日、黒森歌舞伎正月公演が行われました。十五年ぶりに上演された『絵本太功記』の熱演に、日枝神社の境内では、大勢の観客が寒さを忘れて名作を堪能しました。17日は強い雨と風が吹く厳しい天候の中での公演となりましたが、最後まで演じきり無事に幕を閉じることができました。



黒森小学校女子児童による少年太鼓



菅原伝授手習鑑（少年歌舞伎）

正月公演「絵本太功記」 好評のうちに終わる

元ほんたいのこうき

3月12日に「太夫振舞」が行われ、来年の演目が「高田馬場十八番切（たかだのばじゅうはちばんぎり）」に決まりました。今回は、一座の佐藤艶輝さんが選者になりました。『高田馬場十八番切』は赤穂四十七士の一人、堀部安兵衛の少年期から青年期の波乱の人生を描いたもので、他ではなかなか見ることができない珍しい演目です。平成13年以来17年ぶりの上演となります。

来年の演目は 「高田馬場十八番切」

本年より始めました「黒森歌舞伎まんじゅう」は保存会監事の小松尚様のご協力によりまして、多くの方に提供することができ、好評価を頂戴することができました。また、従来の「ふくとり餅」や「しよなす」を懐かしむ声がありましたことも事実で、今後何らかの方法で提供できないものかと考えております。まず



正月公演、酒田公演では保存会の皆様はじめ多くの方々よりご協力を賜りまして無事「絵本太功記」を終了することが出来ました。あらためて心より感謝申し上げます。



開演前にあいさつをする菅井保存会長

酒田公演（3月5日）



「黒森歌舞伎まんじゅう」の一步を踏み出せたことを喜びとし、永く定着しますことを祈念いたします。



「公演を終えて」

黒森歌舞伎妻堂連中 座長 富樫久一



●黒森歌舞伎保存会事務局
〒998-10034
山形県酒田市中心西町2-159
酒田市教育委員会 社会教育文化課内
電話・0234-12412994

●黒森歌舞伎へのご意見・ご要望、公演の感想などお寄せ下さい。今後の参考にさせていただきます。



公演終演後にあいさつをする富樫座長。「黒森歌舞伎が酒田の宝と言われるよう頑張っていく」との言葉に、会場から大きな拍手が送られました。



公演終了後、役者がロビーでお客様をお見送りし、記念撮影や握手に応じていました。